



PATEK PHILIPPE
GENEVE

《報道資料》 ページ 1

バーゼルワールド2014

パテック フィリップ ジュネーブ
2014年3月

パテック フィリップ 年次カレンダー搭載クロノグラフ5960/1A モデル： ステンレススチール・ケースとコンプリケーション機能の稀有な組み合わせ

パテック フィリップの新しい年次カレンダー搭載クロノグラフ5960/1Aモデルは、ステンレススチールのクールな輝きを放つタイムピースである。カジュアルでエクスクルーシブなノーチラス、アクアノートを除けば、コンプリケーション・ムーブメントとステンレススチール仕様ケースを組み合わせた、マニファクチュール パテック フィリップのクラシックでエレガントなモデルとしてはきわめて稀有なもののひとつである。このニューモデルが愛好家、コレクターの多大な注目を浴びることは疑いを容れない。

パテック フィリップの年次カレンダー搭載クロノグラフは、2006年にプラチナ仕様で発表されると同時に話題を独占した。パテック フィリップの歴史における初の自動巻クロノグラフであり、クロノグラフ60分計、12時間計一体型サブダイヤルと弧状に配置された3つのカレンダー表示窓により新しいユニークなスタイルを創り出した。このモデルが、ほどなくしてパテック フィリップのベストセラーのひとつとなったのは驚くにあたらない。サクセス・ストーリーは、それ以後発表されたプラチナ仕様、ローズゴールド仕様モデルにも受け継がれていった。新しい5960/1Aモデルは、スチールを意味するフランス語《Acier》の頭文字《A》が示すごとく、ステンレススチール仕様である。これはこれまでのモデルからのパラダイムシフトといっても過言ではない。5960/1Aモデルは最新のバージョンであるばかりでなく、現行のすべてのゴールドおよびプラチナ・モデルの後を継ぎ、これらに取って代わる。

パテック フィリップのステンレススチール・モデルは、きわめて少量のみ製作されたため、常に最も追い求められるタイムピースのひとつであった。1976年、パテック フィリップがスポーツ・エレガンスを代表するノーチラス・コレクションを世に問うまでは、現行コレクションにステンレススチール・モデルは存在しなかった。ノーチラスの著名なスローガンは言う。《世界で最も高価なタイムピースのひとつは、スチールでつくられている》。その20年後、スポーティでシックなアクアノート・コレクションもまたステンレススチール仕様であった。この2つのコレクションに加え、2010年に発表された超薄型スプリット秒針クロノグラフ5950Aモデルと2011年のスプリット秒針クロノグラフ5004Aモデルを除けば、他のすべてのクラシックなパテック フィリップ紳士用タイムピースはゴールドまたはプラチナ仕様であった。新しい5960/1Aモデルがごくまれな例外であることは、以上からお分かりいただけるであろう。

男性的なエレガンス

新しいステンレススチールの外装は、著名な年次カレンダー搭載クロノグラフに優れてテクニカルな外観を与え、このモデルのクラシックなエレガンスにスポーティで男性的なパーソナリティを加えている。クロノグラフの持つ活動的でダイナミックな性格、および日常生活において有用な時間計測機器としての機能性を強調しているのである。それにもかかわらず、5960/1Aモデルはまがうことなきエレガンスを有している。それは完璧にバランスが取れた優美なラウンド型の形状と、パテック フィリップにおける最高のケース製作技術を体現した、非の打ち所のない精緻な仕上がりによるものである。ポリッシングは科学的な厳密さで行われる。マニファクチュール パテック フィリップのケース



《報道資料》 ページ 2

製作工房で仕上げ工程を任されるまでには、数年にわたる経験が必須である。ステンレススチールは硬度が高いため、仕上げには格別高度な技術が必要であり、ツールも特別なものを要する。ステンレススチール・ケースに鏡のような光沢を与えるためには、研磨剤を順次細かいものに替えながら、ゴールド・ケースの場合より長い時間をかけて作業を行う必要があるのである。

5960/1Aモデルの完璧なハーモニーは、5列のリンクを持った、エレガントでしなやかでありながら強靱な《ドロップ・リンク》スチール・ブレスレットとの組み合わせによるところも大きい。パテック フィリップが創作したエクスクルーシブな《ドロップ・リンク》ブレスレットは1997年、5037/1モデルに初めて装着された。今回初めてステンレススチールのバージョンとなって登場する。

スポーティなレッドのアクセント

新しい5960/1Aモデルの計測機器としてのテクニカルなエレガンスは、目を惹きつけるレッドのアクセントを配し、明暗のハイコントラストと3次元的なアーキテクチャーを備えた新しいシルバークレーの文字盤にも現われている。パテック フィリップにおいては異例ともいえる日付表示は、2日～31日までが白地にブラックであるのに対し、1日の《1》のみが、新たな月の開始を示すため、鮮やかなレッドで表示される。ここには《ドロップ・リンク》スチール・ブレスレットを備えたステンレススチール仕様の年次カレンダー搭載クロノグラフの初登場を記念する、という意味が込められているのかもしれない。合計13個の酸化ブラック仕上げゴールド・アプリケーションが、この文字盤に新しい3次元的な視覚効果を与えている。12個の夜光5分マーカーを備えた外周の12時間クロノグラフ・スケール、弧状に配置された曜日、日付、月表示窓の立体的なフレーム、3つのファセットを施し後部に凹部を設けた8個のバレットインデックス、そして6時位置のクロノグラフ60分計、12時間計一体型サブダイヤルに設けられた12時間スケールがそれぞれである。このサブダイヤルの内周には、二重のクロノグラフ分スケール（0～30分、30～60分）が転写されており、さらに6時位置の小丸窓が昼夜の別を表示する。また12時位置の日付表示窓のすぐ下には、ぜんまいの巻上げ量を-と+の間で示すパワーリザーブ表示針が配置されている。新しくデザインされた5960/1Aモデルの指針は、このタイムピースのダイナミックなエレガンスを強調するものとなっている。酸化ブラック仕上げゴールドの時・分針は、インデックスにマッチさせて3つのファセットが施され、中央に夜光剤を塗布して夜間の視認性を保証している。真鍮のクロノグラフ12時間計指針は、12時間クロノグラフ・スケールにマッチしたブラックニッケル・メッキ仕上げとなっている。一方大きなカウンターウェイトを備えたクロノグラフ秒針と60分計指針は鮮やかなレッドに塗装され、このタイムピースが競技スポーツのパフォーマンスを計測するための機器であることを思い起こさせる。新たにデザインされたブラックニッケル・メッキ仕上げのパワーリザーブ表示針は幅が増し、スケルトン針となった。

伝統と革新の融合から生まれる比類のない精度

新しい5960/1Aモデルは、コラムホイール式フライバック・クロノグラフ、年次カレンダー、パワーリザーブ表示、昼夜表示を備えたパテック フィリップの自動巻クロノグラフ・ムーブメント、キャリバーCH 28-520 IRM QA 24Hを搭載している。テンプレ振動数は28,800振動（片道）／時（4 Hertz）で、きわめて安定した振り角と高い計時精度を実現している。巻上げは単方向巻上げ式21金中央ローターによって行われる。

キャリバーCH 28-520 IRM QA 24Hは伝統と革新の融合を体現している。伝統に忠実なコラムホイールと、垂直クラッチによる革新的な伝達機構を備えており、クロノグラフ秒針の飛びやバックラッシュが起らず、きわめて高い信頼性を保証する。さらに従来構造ではクロノグラフを常時作動させることは避けなければならなかったが、このシステ



〈報道資料〉 ページ 3

ムにおいては、精度にまったく影響を及ぼすことなく、クロノグラフ秒針を常時回転させてセンターセコンドのように用いることができる。

今ひとつの革新的な特徴は、ハイテク素材Silinvar[®]による特許取得のSpiromax[®] 髭ぜんまいを備えたことである。Spiromax[®] 髭ぜんまいの優れたアイソクロニズム（等時性）、軽量性、耐磁性、およびパテック フィリップ独自の形状により、さらに高い計時精度と安定性が達成されている。もちろん厳格なパテック フィリップ・シール認定規準に準拠した日差-3〜+2秒という究極の精度を実現している。

高い計時精度は、搭載されたパテック フィリップ特許の年次カレンダー機構にも大きな恩恵を与えている。この機構は154個の部品から構成されるにもかかわらず、厚さはわずか2.48 mmに過ぎない。月の最初の日をレッドで表示する5960/1Aモデルの年次カレンダーは、月末が30日と31日の月を自動的に判別し、1年に1回、3月1日にのみ日付調整が必要である。

テクニカルなエレガンスに溢れた新しい年次カレンダー搭載クロノグラフ5960/1Aモデルは、ステンレススチールの持つ新鮮で高貴なカリスマ性と相まって、パテック フィリップのベストセラー・モデルとなるべく運命づけられているといえよう。5960/1Aモデルは、今年から従来のすべてのゴールドおよびプラチナ・モデルの後を継ぎ、これらに取って代わる。





技術仕様

年次カレンダー搭載自動巻クロノグラフ5960/1A モデル

| | |
|-----------|--|
| ムーブメント | キャリバーCH 28-520 IRM QA 24H 自動巻ムーブメント コラムホイール式クロノグラフ、年次カレンダー、パワーリザーブ表示、 昼夜表示、センターセコンド（クロノグラフ秒針） |
| 直 径： | 33 mm（基本キャリバー：30 mm、カレンダー・モジュール：33 mm） |
| 厚 さ： | 7.68 mm（基本キャリバー：5.20 mm、カレンダー・モジュール：2.48 mm） |
| 部品総数： | 456個（基本キャリバー：302個、カレンダー・モジュール：154個） |
| 石 数： | 40石（基本キャリバー：35石、カレンダー・モジュール：5石） |
| 連続駆動可能時間： | 最小45時間、最大55時間 |
| 巻上げローター： | 単方向巻上げ式21金中央ローター |
| テンプ： | ジャイロマックス |
| 振動数： | 28 800 振動（片道）／時（4 Hz） |
| 髭ぜんまい： | Spiromax® |
| セッティング機能： | リュウズの2位置 ・引き出した位置： 時刻合わせ ・押し込んだ位置： 巻上げ |
| 表示針： | 時針・分針（センター） クロノグラフ秒針／センターセコンド パワーリザーブ表示（12時位置） 60分計、12時間計一体型クロノグラフ・サブダイヤル（6時位置）： ・60分計（0～30、30～60の二重目盛に60分まで表示） ・12時間計 |
| 表示窓： | ・曜日（10～11時位置）、ダイヤモンド研磨酸化ブラック仕上げ18金ホワイトゴールド枠 ・日付（12時位置）、ダイヤモンド研磨酸化ブラック仕上げ18金ホワイトゴールド枠、 1日の《1》のみレッド、2日～31日まではブラック ・月（1～2時位置）、ダイヤモンド研磨酸化ブラック仕上げ18金ホワイトゴールド枠 ・昼夜表示（6時位置） |
| プッシュボタン： | ・クロノグラフ・スタートおよびストップ（2時位置） ・クロノグラフ・ゼロ復帰およびフライバック（4時位置） |
| 調整ボタン： | ・曜日調整（9時位置） ・日付調整（9～10時位置） ・月調整（10時位置） |
| 認定印： | パテック フィリップ・シール |



外 装

ケース： ステンレススチール
サファイヤクリスタル・ガラス、サファイヤクリスタル・バック
3気圧防水

ケース寸法： 直 径： 40.50 mm
直 径： 43.20 mm (リュウズを含む)
厚 さ： 13.55 mm
ラグ間隔： 21.20 mm

文字盤： エボニー・ブラックとシルバー・オパールインの2トーンで構成：

8個の酸化ブラック仕上げ18金ホワイトゴールド植字バレットインデックス (3面のファセットを施し後部に凹部を設けたニューデザイン)
12個の夜光5分マーカを備えたアプリケによる酸化ブラック仕上げの12時間クロノグラフ・スケール
酸化ブラック仕上げ18金ホワイトゴールド時・分針 (3面のファセットが施され、中央に夜光剤を塗布したニューデザイン)
レッド塗装ステンレススチール・カウンターウェイト付クロノグラフ秒針
酸化ブラック仕上げ18金ホワイトゴールド・バトン型スケルトン・パワーリザーブ表示針

アプリケによる 酸化ブラック仕上げ18金ホワイトゴールドの12時間スケールを備えた60分計、12時間計一体型クロノグラフ・サブダイヤル
カウンターウェイト付バトン型12時間計表示針 (ブラックニッケル・メッキ真鍮)
カウンターウェイト付バトン型60分計表示針 (レッド塗装真鍮)

ブレスレット： パテック フィリップ《ドロップ・リンク》ステンレススチール・ブレスレット
ステンレススチール折り畳み式バックル付

